

## 3 富士山エコレンジャー

### (1) 富士山エコサポーターの活動開始

今後の富士山エコレンジャー(以下、エコレンジャー)の体制の強化と活動の充実のため、エコレンジャーを補佐し、共に活動する富士山エコサポーター(以下、エコサポーター)を新たに設置し、活動を開始します。

項目	エコサポーターの要件
対象	富士山の環境保全活動に富士山エコレンジャーとともに取り組みたい方
登録要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふじさんネットワーク正会員団体からの推薦</li> <li>・静岡県内在住、18歳以上65歳未満の心身ともに健康なもの (賛助会員は正会員の団体に加入の上、推薦を受けることとする)</li> </ul>
29年度登録人数	6名

### 【エコレンジャーとエコサポーターの比較】

区分	富士山エコサポーター	富士山エコレンジャー
新規登録	① 富士山エコサポーター応募(18~65歳) ↓ ② 富士山ネットワーク正会員(団体)から推薦 ↓ ③ 富士山エコサポーター登録 (富士山ネットワーク会長)	① 富士山エコサポーター登録者(19~70歳) ↓ ② 富士山エコレンジャー活動への参加 講習受講 10単位以上取得 ↓ ③ 富士山エコレンジャー応募 ↓ ④ レポート作成 ↓ ⑤ 富士山エコレンジャーの承認 ↓ ⑥ 富士山エコレンジャー登録 (富士山ネットワーク会長)
応募条件	富士山ネットワーク正会員(団体に所属) 静岡県在住 4月1日に18歳以上65歳以下 活動に必要な体力を有する 富士山ネットワーク正会員(団体)からの推薦が 得られること	富士山エコサポーターであること 指定された講習会を10単位以上取得 (基礎5単位 実技5単位) 4月1日に19歳以上70歳以下 「富士山環境保全について」レポート提出
登録期間	1年	1年
更新条件	年間活動回数 1回以上	年間活動回数 5回以上

- 多忙な方でも活動できるよう、エコサポーターは年間1回以上の活動で継続可能
- エコサポーターは、エコレンジャーと共に行動することで、OJTの機会を確保
- 意欲があって、年間活動回数を確保できるエコサポーターは、将来エコレンジャーになることも可能。
- 一方、エコレンジャーであっても活動回数の確保が困難な場合は、エコサポーターに移ることも可能。

## (2)富士山エコサポーター登録式

ふじさんネットワーク総会に合わせて、平成29年6月10日(土)沼津市立図書館視聴覚ホールで、富士山エコサポーター登録式が行われました。  
増澤会長から登録証が授与されるとともに、励ましの言葉が贈られました。



富士山エコサポーターの皆さん



増澤会長からの励ましの言葉

## (3)富士山エコレンジャー連絡会総会

平成29年6月17日(土)県富士総合庁舎で、エコレンジャー 9名(OB1名含む)、エコサポーター 6名の参加により、総会が行われました。

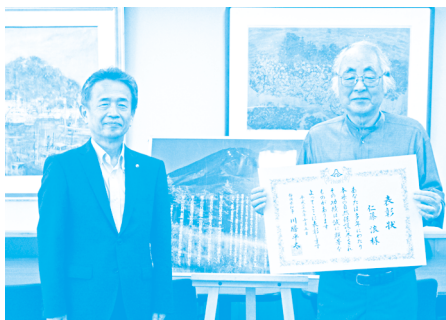
- a 平成28年度事業報告  
閉山期間中の登山、五合目駐車場の利用マナーの課題等
- b 役員改選  
富士山エコレンジャー連絡会の会長職は廃止、仁藤 浪会長は勇退  
代表幹事、幹事をエコレンジャーの中から選出、承認
  - ・代表幹事 富士自然観察の会 吉永 耕一 氏
  - ・幹 事 富士山の自然を守る会 小島 正 氏  
富士箱根伊豆自然観察指導員連絡会 関 直人 氏  
富士山自然の森づくり 星野 輝一 氏

## (4)仁藤浪氏(前富士山エコレンジャー連絡会長)が自然保護功労知事表彰を受賞

平成29年7月5日(水)静岡県庁くらし・環境部長室で、仁藤浪氏の「自然保護功労知事表彰」表彰式が行われました。

仁藤氏は、富士山エコレンジャーを平成18年に組織化され、その連絡会長として、本年6月まで御活躍いただきました。また、平成19年度から22年度まで、ふじさんネットワーク副会長も務められました。

他にも、昭和59年から続く富士宮自然観察の会による模範的なボランティア活動、平成15年から続くNPO法人富士山自然の森づくりによる森林・草原保全活動など、多彩な富士山環境保全の取組を展開され、「富士山憲章」の啓発と実践に大きく貢献されました。



左：高木利夫県くらし・環境部長 右：仁藤浪氏



富士山の保全について、これまでの歩みを語る